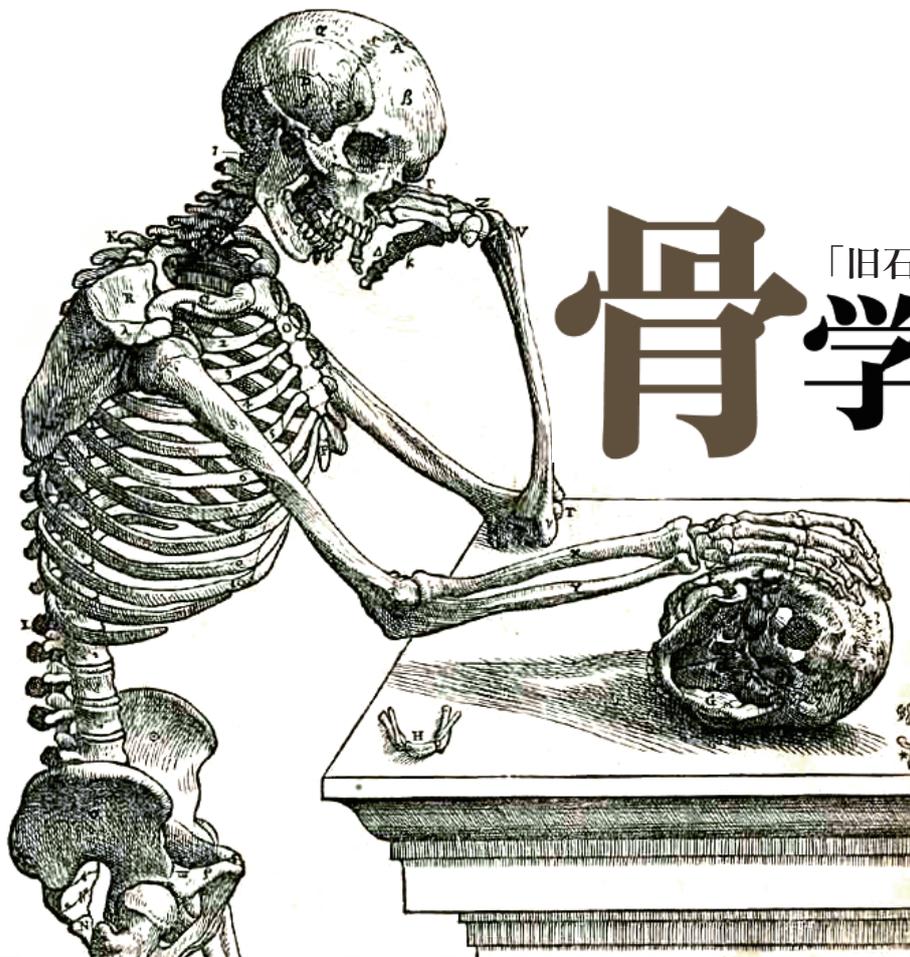


旧石器時代の人類

— 海を越えた最初の人々 —

2023.12.12 火—2024.2.12 月 祝



# 骨学セミナー 沖縄版

「旧石器時代の人類」展 文化講座 1

2023.

12.16 土

入場無料

14:00 ~ 16:30  
(開場 13:30)

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合がございます。

**講師** 奈良 貴史 氏 (新潟医療福祉大学 教授)  
佐藤 孝雄 氏 (慶應義塾大学 教授)  
澤田 純明 氏 (新潟医療福祉大学 教授)

**会場** 沖縄県立博物館・美術館  
3F 講堂

**受付** 当日先着 (定員 200 名)

**お問合せ** 098-941-8200  
〒900-0006  
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

遺跡から出土する骨の研究は先史人類学において重要な役割を果たします。本講座では、新潟で毎年開催され好評を博している骨学セミナーの中心メンバーと動物考古学の分野で幅広く研究を進めてこられた研究者をお招きし、どのようにして骨から人類史を紐解くのかを分かりやすく解説します。

## ■プログラム

- 14:00 開会の挨拶
- 14:05 ①「遺跡出土骨片のミクロ解剖学からわかること」 澤田 純明 氏
- 14:50 ②「イヌの動物考古学-縄文犬の研究-」 佐藤 孝雄 氏
- 15:35 休憩
- 15:45 ③「ネアンデルタール人類の消滅と現生人類 (ホモ・サピエンス) の拡散」 奈良 貴史 氏
- 16:30 終了

あなたの沖縄に出会う

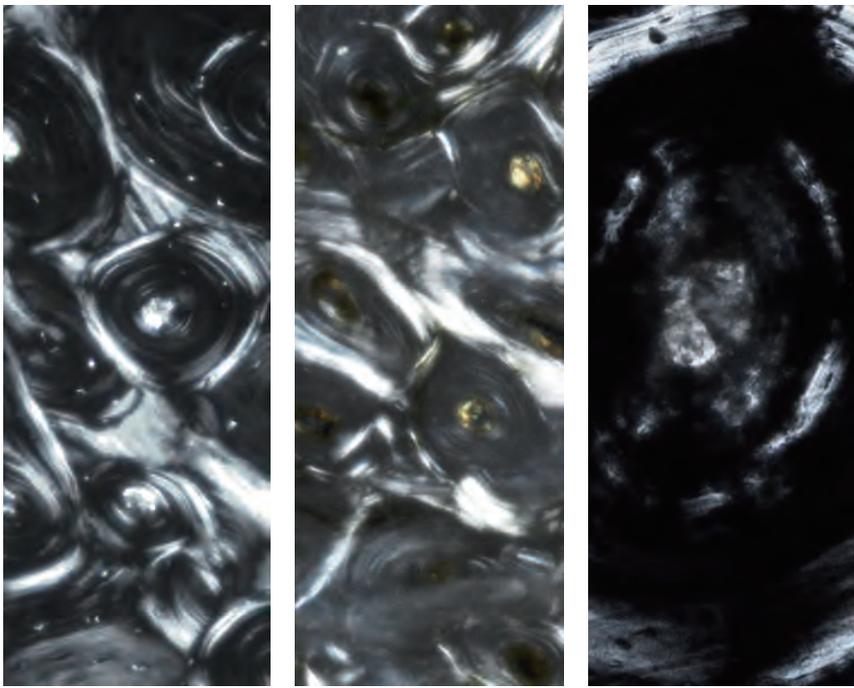
**沖縄県立博物館・美術館**  
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】 9:00-18:00 (金・土は20:00まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)

船の科学館 Supported by  
海の学び THE NIPPON  
ミュージアム FOUNDATION  
サポート

海と日本  
PROJECT



骨組織の偏光顕微鏡写真（左からシカ、柏台1遺跡出土資料、ナウマンゾウ）



澤田 純明 氏（新潟医療福祉大学 教授）

遺跡から出土した骨が破片になっていることは珍しくありません。肉眼では白い塊にしかみえない小さな骨片を、プレパラートにして顕微鏡で覗くと、独特の微細構造からなる美しい世界が広がります。動物種によってそれぞれ異なる骨の構造を、ミクロ解剖学の方法で観察することで、遺跡出土骨から何が読み取れるのかを解説します。



佐藤 孝雄 氏（慶應義塾大学 教授）

イヌは人類最古の家畜と考えられ、その出現が数万年前に遡ると見られています。日本列島においても、凡そ一万年前の縄文時代早期には、既にイヌと共生する人々がいたことが明らかとなっています。本講演では、特に縄文時代に焦点を当て、出土骨から読み解ける往時のヒトとイヌとの関係性についてお話したいと思います。



上黒岩岩陰1号犬



I.TATTERSALL 1995 The Last Neanderthal より転載



奈良 貴史 氏（新潟医療福祉大学 教授）

現在地球上には我々現生人類（ホモ・サピエンス）しか生存していません。しかし、かつては隣人と称される人類集団が複数存在していました。最後の隣人と呼ばれるネアンデルタール人類を理解することは、我々の存在理由を考える上でも重要と思われます。講演ではネアンデルタール人類と現生人類の形態学的差異を概説します。